



天才！？科学者シリーズ 1
『ガリレオ 地球を動かした男』ルカ・ノヴェッリ著

ガリレオ・ガリレイは、数えきれないほど道具を発明し、公開の場で実験をおこないました。

また、月面のクレーター、木星の衛星、太陽の黒点など、多くの発見もしています。自分の説を守るために、火あぶりの刑にされかかったこともあります。

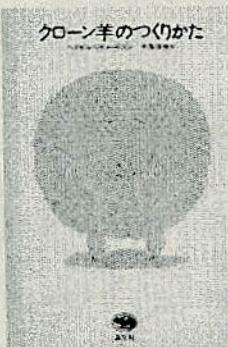
ガリレオの人生は、天体の真のすがたを人びとに伝えるための、文字どおりの戦いだったといえるでしょう。



『そだったのか！アメリカ』 池上 彰著

私たちが知っているようでも知らないアメリカ。そんなアメリカの実像について、自分なりに新しい「発見」を繰り返しながら、なんとか最後のページまでたどり着きました。アメリカをひとつの色で塗ってしまうのではなく、さまざまな色を使って表現しようと努力してみましたが、果たしてどこまで成功したやら。自信が持てません。あなたの判断に任せます。

それでも、アメリカという国を知れば知るほど、「不思議な国」という印象が強まりました。独善的な帝国主義と国内の差別主義。にもかかわらず、人権のため、報道の自由のために果敢に戦いを挑む人々。その勇気に感動しながら、この本を書くことができました。
～あとがきから 池上 彰～



『クローン羊のつくりかた』 ヘイゼル・リチャードソン著

イギリスで誕生したクローン羊・ドリーやクローン人間についての議論などで、新聞・テレビのニュースをにぎわすクローン。でも、クローンっていったい何なんだろうか？

クローンってどうやって作るのか。動物の胚の成長と仕組みとは。遺伝子とDNAって。クローンのよい点とは。クローンの何が問題なのか。どうして、クローンのことをおそれる人がいるのか。実際にジュラシックパークは可能なのか…。

やさしい例をあげながら、クローンやDNA、遺伝子といった生物学的な問題点について、いろいろな方面から解説し、疑問点に答えていく。

子どもから大人まで、みんなで楽しめて、わかりやすいサイエンス・ブックの誕生。

☆☆☆お知らせ☆☆☆

冬休みの貸出について

冬休みに向けて、一人3冊まで貸し出します。

貸出期間は12月15日(木)～22日(木)終業式の日までです。

返却期間は1月10日(火)始業式の日～13日(金)です。

この間に必ず返却してください。



天才！？科学者シリーズ 2～10

- 2 ダーウィン—進化のしくみを考えた人
- 3 アインシュタイン—ミクロの世界と宇宙のとびら
- 4 アルキメデス—地球を持ちあげてみせよう
- 5 エジソン—現代を発明した男
- 6 ポルター—未来をつくった電池の発明
- 7 ニュートン—宇宙の法則を見つけた男
- 8 ダ・ヴィンチ—時代を先取りした左手
- 9 ヒポクラテス—医学を発展させた賢人
- 10 メンデル—エンドウマメと遺伝の法則

成和中学校図書室

図書室だより

NO. 4

平成23年12月15日

☆☆☆おすすめ図書☆☆☆



『ドリーム・ギバー』 ロイス・ローリ著

記憶のかけらを集め、夢を紡ぐ精霊ドリームギバー。彼らの仕事は幸福な夢を人間に贈ること。笑いを— 勇気を— やすらぎを—。

渾身の力をこめて、希望の言葉を夢の中にすべりこませてゆく…。

生まれたばかりの精霊であるリトレストは、夢を贈る修行に、先輩の精霊とともにある場所に向かう。そこは、一人のおばあさんと犬が、静かな生活を送る場所。むかし得て失った愛の記憶が静かに残る部屋でひっそり暮らすその場所に、一つの嵐がやってくる。

それは、ジョンという少年。毎夜、恐ろしい夢にうなされるジョンに、リトレストは、何とか優しい夢を贈れるように努力する。そして、おばあさんも、毎夜少年を抱きしめる…。



『エイジ』 重松 清著

ぼくの名はエイジ。東京郊外・桜ヶ丘ニュータウンにある中学の二年生。その夏、町には連続通り魔事件が発生して、犯行は次第にエスカレートし、ついに捕まつた犯人は、同級生だったー。その日から、何かがわからなくなってしまった。ぼくもいつか「キレ」しまうんだろうか?…家族や友だち、好きになった女子への思いに揺られながら成長する少年のリアルな日常。山本周五郎賞受賞作。



『南総里見八犬伝(一)』 滝沢 馬琴著

江戸時代のファンジー作家、滝沢馬琴の奏でるヒロイックファンタジー。妖婦玉梓に末代まで呪われた里見義実。

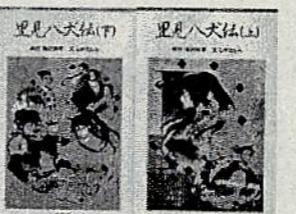
娘の伏姫は、愛犬八房と共にいちどは命をなくすが、その靈は、仁、義、礼、智、忠、信、孝、悌、八つの珠となって、とびちり、八人の〈犬士〉が生まれる。伏姫と八房に見守られた八人は友情の絆で結ばれ、玉梓の呪いを打ち碎くことになるのが…。



『南総八犬伝(二)～(四)』 滝沢 馬琴著

犬士のあかしは、三つ。犬のつく名字であること。体に牡丹の花のあざのあること、そして…文字のうかぶ不思議な珠を持っていること。

「あなたおそろしや、玉梓の怨念～！」運命の糸で結ばれた八人の犬士たちが、妖婦玉梓の呪いを打ち碎く！！！



『里見八犬伝(上) (下)』 滝沢馬琴著

ポプラ社のポプラ文庫もあります。

裏面あり